

事業所名		らいおんキッズGrowth				支援プログラム		作成日		7	7	1	年	月	日
法人（事業所）理念		らいおんキッズGrowthのGrowthとは、「成長」との意味です。子どもの発達が気になる、また子育てににくいなど様々な難しさを、少しでも減らしていくヒントを捜したい。その難しさから少し解放されたときに、子どもは「成長」していくことができます。人はいくつになっても、生きている限り「成長」したいと思っています。Growthでは、一人ひとりが輝いてほしいし、一人ひとりが大切です。子どもがもともと持っている可能性を開くために「なんでも挑戦してほしい」と願いGrowthの理念とする。													
支援方針		・「デキタ」「ワカッタ」という経験をたくさん積んで自信を育てる。 ・困った時に周りの人へ発信する力をつける。 ・幼稚園・保育所等の大きな集団の中で、先生や友だちと理解や援助の方法を共有し、自分らしさを発揮して安心して過ごせるように支援する。													
営業時間		9	時	0	分から	15	時	0	分まで	送迎実施の有無	ありなし				
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・生活リズムを整える。 ・基本的な生活スキル（食事、排泄、衣服着脱、清潔等）の確立。 ・視覚的な情報提供を行い、行動を見通す力や取り組む意欲を育てる。													
	運動・感覚	・身体をたくさん動かして、いろいろな身体の動かし方を体験する。 ・さまざまな遊具や道具を使って微細運動・粗大運動を体験し、生活の動作を獲得する。 ・一人一人の感覚の特性を見ながら、環境設定や必要な道具等を考え、安心して過ごせるようにする。													
	認知・行動	・一人一人アセスメントを行い発達の状態を把握して、一人一人の状態、特性に応じた支援を行う。 ・いろいろな教材、遊具、絵本等を使って、概念形成を促す。 ・特性に応じて理解しやすい環境や情報提供の方法を整え、「わかった」という機会を積み重ねていく。 ・いろいろな気持ちがある事を知り、気持ちを切り替える方法を知る。													
	言語 コミュニケーション	・絵カード、イラスト、ジェスチャー、文字、表情、身振りなどを使ってやりとりを行い、人と関わる楽しさを知る。 ・短い言葉やわかりやすい言葉を使いながら「わかった」という経験を積み、発語を促していく。 ・言葉が出にくい時は大人がモデルを示すなど必要に応じて支援を行い、言葉の使い方を学べるようにする。 ・大人が橋渡しを行いながら友だちとの遊びややり取りを楽しめるようにする。													
	人間関係 社会性	・大人が気持ちの代弁や仲介をしながら、人と関わる経験を積み、人と過ごす事、やり取りする事を楽しめるようにする。 ・困った時に「たすけて」「おしえて」を発信できるように機会をとらえて支援し、助けを求めることは良い事を体験できるようにする。 ・自分の気持ちを表現する事、相手の気持ちに気づく事、気持ちを切り替える事など支援する。 ・ごっこ遊びやルールのある簡単なゲームを通じて、話を聞く、順番を待つ、交代する、我慢するなどの社会的なルールや感情のコントロールを学べるようにする。													
家族支援		・個別支援計画にて提供する支援内容について丁寧に説明を行う。 ・保護者からの相談は随時時間を設けて、不安や疑問の軽減をはかり、必要に応じて関係機関へのつなぎを行う。 ・きょうだい、祖父母など家族の方の見学等は随時受入、理解を深める機会を作る。 ・保護者の学びや仲間づくりの場を作る。							移行支援		・就学に向けて、就学相談会への同行や就学先への情報提供を行う。 ・保護者と一緒に「支援ファイル」を作成する。				
地域支援・地域連携		・幼稚園・保育所等との情報交換を行い、支援方法の共有や理解を深める。 ・幼稚園・保育所等の集団の場面で直接支援を行い、クラスの子どもの理解や支援を育てていけるように取り組む。 ・担当者会議等に参加して、連携、情報共有を行う。							職員の質の向上		・園内研修（日々の振り返り、ケース会議、研修報告など） ・外部研修への参加				
主な行事等		誕生会・季節の行事等													